

マリズム時計工業株式会社











目次

財務ハイライト	2
であいさつ	
経営理念/グローバルネットワーク	4
クロック事業への取り組み	_
電子事業への取り組み	
コーポレート・ガバナンスの状況、品質・環境への取り組み	
事業系統図、関係会社	10
会社概要	11



INTRODUCTION

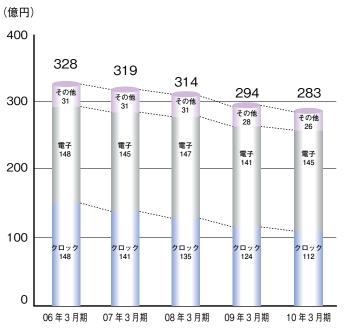
(金額は切捨てで表示しております。)

財務ハイライト

2010 年3月期連結業績要約 3月31日に終了する事業年度

		百万円		
	2010年3月期	2009年3月期	比較	
売上高	28,383	29,409	▲ 3.5 %	
営業利益	1,129	113	+894.7%	
経常利益	1,333	328	+306.3%	
当期純利益	1,009	▲ 1,903	_	
総資産	37,429	35,919	+4.2%	
純資産	30,919	30,384	+1.8%	
減価償却費	836	1,098	▲ 23.9 %	
設備投資	376	755	▲ 50.2 %	
		円		
1株あたり純資産	244.96	228.29	+7.3%	
1 株あたり当期純利益	7.70	▲ 14.28	_	
1株あたり配当金	2.00	0.00	_	
		人		
連結従業員数	1,047	974	+7.5%	

売上高推移(セグメント別)





ごあいさつ



2010年3月期を振り返って

F其を抜し返って の はままない。 に対し返って

当連結会計年度における我が国の経済は、海外経済の改善や政府の緊急経済対策の効果などを背景に、緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、依然、その自律性は弱く、雇用情勢の厳しさら、依然、その自律性は弱く、雇用情勢の厳しさら、依然、その自律性は弱く、雇用情勢の厳しさた、欧米におきましても、失業率の高止まりや金た、欧米におきましても、失業率の高止まりや金が、経済政策の効果などから景気は穏やかな持ちが、経済政策の効果などから景気は穏やかな持ち直しを見せております。

収益基盤の強化に取り組んでおり、クロック事業このような状況の中、当社グループは継続して

業利益とも前年同期を上回りました。

業利益とも前年同期を上回りました。海外販売でにおり営業利益は増益となりました。海外販売では全体として厳しい環境が続いておりますが、売上高、営業利益とも前年同期を上回りました。また、電子事業におきましては、情報機器分野の売た、電子事業におきましては、「複機器分野の売上回復や合理化策の推進などにより、売上高、営業利益とも前年同期を上回りました。

なりました。営業利益につきましては、クロッ同期294億9百万円に対し3・5%の減収と年度の売上高は283億83百万円となり、前年以上のことから、当社グループの当連結会計

円に対し894・7%の増益となりました。経常 19億3百万円の損失)。 償損失9億46百万円を計上したことなどにより 減少したことなどにより10億9百万円となりまし 利益につきましては、受取利息及び受取配当金 果、11億29百万円となり、 ク事業、 た(前年同期は、特別損失に音楽著作権損害賠 につきましては、投資有価証券評価損の計上額が 13億33百万円となり、前年同期3億28百万円に対 る為替差損の計上額が減少したことなどにより が減少した一方で、外貨建債権の評価損等によ し306・3%の増益となりました。当期純利益 電子事業とも前年同期を上回 前年同期1億13百万 [った結

GREETING from RHYTHM

経営理念

(基本理念)

たゆみない創造と革新を続け、 豊かで楽しい安全な 社会づくりに貢献する。

- ・人々に喜ばれる製品・サービスを 創造する。
- ・世界の国々における取引を通じ 関係者の繁栄を図る。
- ・活力ある企業風土を築く。

(社 訓)

- ・質実剛健の精神
- ・科学性(合理性)に徹する精神
- ・明朗協調(和)の精神

私たちリズムグループの経営理念は、私たちが志向 する「企業像」に向かって進むための道しるべです。

私たちの求め向かう「企業像」とは、真に社会に貢献できる企業であることです。企業の存在価値は「社会に貢献」することであり、それには企業の持続的な成長が不可欠です。そして、持続的に成長するためには「たゆみない創造と革新」が必要となります。創造と革新によって生み出される製品・サービスはさまざまな人々に喜びを与え、「豊かで楽しい安全な社会づくりに貢献」することになります。それこそが私たちの求め向かう企業の姿なのです。

グローバルネットワーク



国内クロック事業への取り組み



4MH848RH06 プライムオルガニート



8MY450-003 ミレディラウンド



4MY801-006 リバライト M801



4SG785-009 ビシュール R785



8RDA41RH05 ケロクロック



4MJ898AK06 ウッディーカッコー 898

クロック国内販売拠点

ては、 した。 米国での販売が回復したことに加え、 的堅調に推移いたしました。海外販売で 低迷や企業需要の減退が続く中、 継続して実施しております収益改善策が 減収となりました。一方、 の他の地域も堅調に推移し増収となりま は、厳しい市場環境が続いておりますが、 つきましては、お客様の評価も高く比較 前年同期を下回りましたが、新商品に 国内販売におきましては、 自動車販売台数減少の影響を受け また、自動車時計販売につきまし 利益の面では 売上高

> 境の中でも営業利益は大幅な増益となり さらに円高効果もあり、低迷した市場環 原価率改善や販売費の低減に結びつき、

札幌営業所 個人消費 仙台営業所 新潟営業所 京都営業所 広島営業所 北関東営業所 東京支店 横浜営業所 四国営業所 名古屋支店 大阪支店 福岡支店

度

営

海外クロック事業への取り組み

グローバルに広がる代理店網(■代理店がある地域)



香港を拠点にして、北米を除く全世界に、販売活動を展開



タイのリズムショップ



ロシアでの屋外広告

●リズム U.S.A. 株式会社

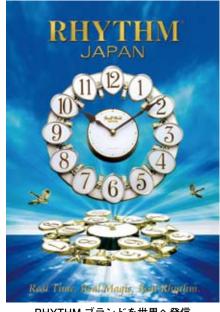
米国ジョージア州アトランタに所在し、北米市場で販売活動を展開







全米有数の規模を誇るギフト国際見本市、アトランタ・インターナショ ナルギフトショーが開催されるアメリカズマート内にショールームを 展開



RHYTHM ブランドを世界へ発信

●中国工場

中華人民共和国広東省東莞市に所在し、部品調達か ら完成品までの一貫生産を行い、クロック生産の大 半をここで行っています。さらに、電子事業、金型・ 部品事業の重要な生産拠点ともなっております。





電子事業への 取り組み

事業拠点





AM 電波タイマ

お客様のご要望を第一と考え 高付加価値サービスを提供していきます。



車載カメラ

サービスをご提供できるよう総力 をあげて日々挑戦し続けます。 にすることにこだわり、 頼される「開発支援型企業」と システム化を実現し、 からシステムに至るまでの統合 機器とシステムをとらえ、 社は新たな方向性から電子 お客様のご要望をカタチ製品やジャンルにこだわ 市場に信 より良 部品

様のお役に立っております。を支える様々な商品を通じて皆培った精密技術を活かし、生活培った精密技術を活かし、生活



麗聲精密零件(香港)有限公司(中国工場)



リズム時計工業株式会社 電子事業部益子工場

DIVISION



精密機構部品

となりました。 4億4百万円に対し144・6%の増益 利益は10億92百万円となり、 となり、 対し2・7%の増収となりました。営業 電子事業の売上高は145億47百万円 業利益は増益となりました。 継続的な合理化策の実施などにより営 益の面では情報機器分野の増収効果や 売上高は前年同期を上回りました。利 では減収となりましたが、 部品需要の低迷が続く金型・部品分野 そのような中、 に対し積極的に新商品の企画提案を実 分野では増収となり、電子事業全体の 機種提案が販売に結びついた情報機器 以上のことから、当連結会計年度の 電子事業におきましては、 業績の拡大に努めております。 前年同期141億58百万円に デジタル製品向け精密 積極的な新 前年同期 顧客企業

部品事業へ 取り組み

金型製作から 部品供給・組立まで、 高い技術力と海外生産体制で、 お客様の多様なニーズにお応えします。

確信しております。

知の技術分野へ果敢に挑み続けて てのお客様に輝いていただくため に自らの無限の可能性を信じて未 分野へ事業領域を拡大してまい 医療機器製造業許可を取得しまし た。当社の技術力を結集し、 向上」に努力を惜しまず、 当社は、「人材の育成」と 2009年には一般医療機器の

「技術

すべ

をもち、 てお引き受けしてまいりました。 と品質管理体制のもと責任をもっ 託開発、一貫生産まで、高い技術 オーダーはもとより、 を十分に感じていただけるものと えのお客様にも、当社のメリット 「金型」、「部品」、「組立」の個別の 中国、 日本国外で部品調達をお考 幅広い技術力とノウハウで、 発展著しい新興国のみな トナムにネットワーク 新製品の委

以来、 年に時計部品製造会社として設立 社の三社により事業展開をしてお ズムプレシジョンベトナム株式会 株式会社を中核企業として、 東北リズム株式会社は、 金型・部品事業は、東北リズム (香港) 有限公司及びリ 1 9 7 7 麗聲

雷子事業の事業拠点



医療

東北リズム株式会社



リズムプレシジョンベトナム株式会社

企業統治の体制の概要

知徹底しております。

業務執行において、各部門長は、

の推進等に関する法律―平成12年法100号、

当社及び当社グループの従業員に周

コンプライアンス教育を

通 じ、

て、

からも図ってまいります。 社外監査役を含む監査役機能の充実 ことで、 社事業に精通した取締役で構成する であります。当社は、取締役会を当 監査役4名 取締役7名(うち社外取締役1名)、 当社は監査役制度を採用しており 経営の健全性の強化をこれ 経営の効率化を図る一方、 (うち社外監査役3名

の 下、 切な業務執行手続を定めております。 限 掌規程においてそれぞれ責任者の権 規程及び職務権限規程並びに業務分 内部統制機能を確立するため、 が迅速に遂行しております。また、 基づく業務執行は、代表取締役社長 行っております。取締役会の決定に 則月1回以上) において意思決定を める事項については、「取締役会」(原 める事項のほか、取締役会規程の定 る重要事項は、法令または定款の定 更に、取締役会の機能強化と迅速 ・責任を明確化するとともに、 当社及び当社グループ経営に関 業務担当取締役、各部門長ら 組織 適

ポレー ガバナンスの状況 •

査室が有効性の評価を推進しており

局がその構築・運用を行い、

内部監

経理部内に設置された内部統制事務 る内部統制監査制度に対応するため、

ます。

内部監査及び監査役監査の状況

2名も取締役会に参加するなど、取役として常時勤務し、非常勤監査役 締役の職務執行を十分に監視できる 互連携に努めております。 方法と結果の報告を受けるなど、 監査役は会計監査人より会計監査 査も定期的に行っております。 体制になっており、各事業所への監 監査役4名のうち2名は常勤監査 また、 相

品質・環境に関する認証一覧

内部統制の有効性の評価を含む内

1982年 デミング賞実施賞を受賞

がなされているかについて監査を行 が各事業所において適正な業務執行 部監査については、内部監査室(1名)

とを企業倫理としております。

そし

とも意見交換を行っております。

尊重し、

良識ある企業活動を行うこ

守することはもとより、社会規範を

イアンス行動指針を定め、法令を遵

報告し、監査役監査との連携を図

い、その結果を監査役会に定期的

ております。また、取締役会に適時

社外取締役及び社外監査役

当社及び当社グループのコンプラ

内部統制システムの整備の状況

回以上)において協議決定してお

役で構成する

「経営会議」(原則月2

る事項について取締役及び常勤監査 要事項のほか、経営会議規程で定め る重要方針及び業務執行に関する重 な意思決定を図るため、経営に係わ

1995年 電子機器事業部でISO9002認証を取得

2001年 リズムサービス株式会社でISO9001認証を取得

2002年 電子事業部でISO9001認証を取得 RHYTHM PRECISION (H.K.) LTD. で

ISO9001認証を取得

2003年 東北リズム株式会社でISO9001認証を取得

東北リズム株式会社でISO14001認証を取得

2004年 RHYTHM INDUSTRIAL (H.K.) LTD.で ISO9001認証を取得

> 電子事業部益子事業所(現益子工場)で ISO14001認証を取得

本社・時計事業部でISO9001認証を取得 2005年 クロック初のエコマーク取得商品発売

2009年 RHYTHM PRECISION VIETNAM. CO., LTD. でISO9001、ISO14001認証取得

2010年 グリーン購入法適合



エコマーク商品認定証



時計事業部、電子事業部



電子事業部益子工場

品質・環境

する義務を負っています。このコン

に、コンプライアンス推進室に報告 合性の疑問が生じた行為は、速やか 業務上の法令違反行為または法令適

プライアンス推進室では、コンプラ

を設置しております。

更に、当社は金融商品取引法によ

通報制度を設け、社内外に相談窓 及び向上を図っており、更に、内部 イアンス教育により遵法意識の浸透

ます。国は、毎年、グリーン購入法に適合した商 います。 おり、地方自治体も同様の取り組みが求められて 品をどのくらい購入したか公表する義務を負って 品)を一定条件のもとで購入するように定めてい 法施行以来、

めて調達品目として追加されました。 2009年の規格見直しにより、クロックがはじ も)は適合商品に認定されていませんでしたが、 は、新たにクロック品目として29型が認定されま 公表されたグリーン購入法に係る特定調達品目で したが、その全てが当社製品でした。 に認定されております。2010年4月に追加 2010年度は、19分類236品目が対象商品



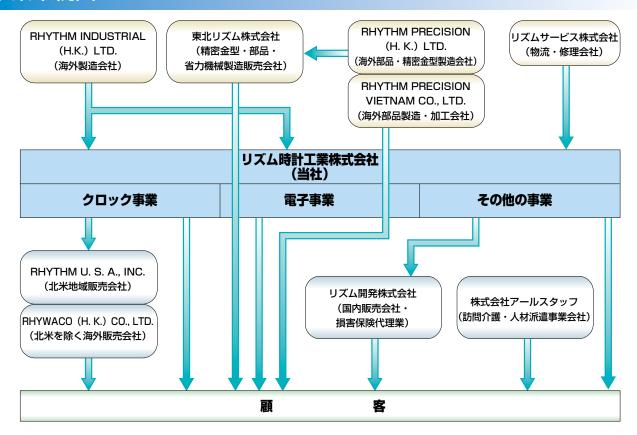


エコライフシリーズ

グリーン購入法適合商品として当社掛時計29型が認定受ける

CORPORATE PROFILE

事業系統図



関係会社

国内

東北リズム株式会社(各種金型・精密部品・省力機械の製造販売)〒 965-0844 福島県会津若松市門田町大字一ノ堰字土手外 168TEL. 0242-28-8074 FAX. 0242-28-2375URL=http://www.trmk.co.jp/ E-mail. somu@trmk.co.jp

リズムサービス株式会社(時計の修理・一般貨物の配送) 〒 308-0112 茨城県筑西市藤ヶ谷 1500 番地 TEL. 0296-37-8381 FAX. 0296-37-8388 URL=http://www.rhythm-service.co.jp/

リズム開発株式会社 (時計およびギフト・雑貨等の販売、損害保険代理店) 〒 330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町一丁目 299 番地 12 TEL. 048-643-7781 FAX. 048-643-8281 URL=http://www.rhythm.co.jp/rmk/

株式会社アールスタッフ(介護・人材派遣事業) 〒 362-0075 埼玉県上尾市柏座一丁目 10 番 34 号 TEL. 048-770-4333 FAX. 048-771-6613 URL=http://www.r-staff.jp/

海外

リズム U. S. A. 株式会社 /RHYTHM U. S. A., INC. (Selling Clocks) 8601 Dunwoody Place, Suite 150, Atlanta, GA 30350 U. S. A. TEL +1-770-640-6311 URL=http://www.rhythm.us.com/

リズム(香港)有限公司 /RHYWACO(H. K.) CO., LTD.

(Selling Clocks and Clock Movements)
12/F., Remington Centre, 23 Hung To Road, Kwun Tong,
Kowloon, Hong Kong
TEL. +852-2790-3882
URL=http://www.rhythm.com.hk/

麗聲実業(香港)有限公司 /RHYTHM INDUSTRIAL(H. K.)LTD.

(Manufacturing Clocks and Clock Movements)

· 本社(Head Office)

Unit 301, Yen Sheng Centre, 64 Hoi Yuen Rd, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. +852-2950-0995

・中国工場(China Factory)

Dabandi Industrial Zone, Daning District, Humen Town, Dongguan, Guangdong, China. TEL. +86-769-8623-2302

麗聲精密零件(香港)有限公司 /RHYTHM PRECISION (H. K.) LTD.

(Manufacturing of Injection Mould and Injection Precision Parts.)

・本社(Head Office)

Unit 301, Yen Sheng Centre, 64 Hoi Yuen Rd, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. +852-2950-0995

・中国工場(China Factory)

Dabandi Industrial Zone, Daning District, Humen Town, Dongguan, Guangdong, China. TEL. +86-769-8623-2321

リズムプレシジョンベトナム株式会社 RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.

(Manufacturing of Injection Precision Parts.) Lot No.42, Noi Bai Industrial Zone, Quang Tien, Soc Son District, Hanoi, Vietnam TEL. +84-4-582-1661

韓国リズム時計株式会社 /KOREA RHYTHM CO., LTD.

(Selling Clocks)

329-7, Banghwa-3-Dong, Kangseo-Gu, Seoul, Korea, 157-848 TEL. +82-2-2661-4292

ORPORATE PROFILE

(2010年6月22日現在)

代表取締役社長 大 111 康 審 常勤監查役 田 村 睦 取締役 永 田 勝 志 役 泰 朋 金 成 締 役 篠 原 英 也 小 網 忠 明 笠. 間 達 雄 中 ıΙι 宏 博 取締役 役

孝 桶 哲 史 役 上 田 役 古 河 利 夫

株主の状況

(2010年3月31日現在)

シチズンホールディングス株式会社

日本生命保険相互会社

株式会社埼玉りそな銀行

共栄火災海上保険株式会社

住友信託銀行株式会社

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)

株式会社三井住友銀行

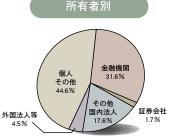
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO

株式会社武蔵野銀行

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)

株主の状況

(2010年3月31日現在)





1946年 当社の前身である(株農村時計製作所設立

1950年 当社設立 本社:東京都港区 工場:埼玉県北葛飾郡庄和町

1951年 国産初のプラスチック枠時計発売

1953年 シチズン時計株式会社、シチズン商事株式会社と技術・販売・ 資本提携

1963年 東京証券取引所第二部市場へ株式上場

1965年 益子工場を新設

1969年 シチズン時計株式会社と商標の相互使用に関する基本契約を締結

1970年 会津工場を新設(現東北リズム株式会社)

1972年 東京証券取引所第一部へ指定替え クロック生産量世界1位となる

水晶(クオーツ)時計発売

1973年 世界初4メガヘルツ級の水晶ムーブメント開発

1977年 リズム工機株式会社を設立 (現東北リズム株式会社)

1978年 リズムサービス株式会社を設立

1982年 TQCデミング賞実施賞を受賞

1988年 CCDカメラ販売開始

1989年 米国にRHYTHM U.S.A., INC.を設立

1990年 香港にRHYWACO (H. K.) CO., LTD.を設立

1992年 香港にRHYTHM INDUSTRIAL (H. K.) LTD.を設立 中国工場稼動

1994年 香港にRHYTHM PRECISION (H. K.) LTD.を設立

1997年 本社を東京都墨田区に移転

2000年 創立50周年を機に埼玉県内の児童施設に時計を寄贈(以降毎年 「時の記念日|に実施)

2003年 本社をさいたま市大宮区に移転

2005年 当社子会社・中国工場統合新設・稼動

ベトナムにRHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.を設立 クロック初のエコマーク取得商品発売

2010年 クロック初のグリーン調達適合認証を受ける

会社概要

設 立 1950年(昭和25年)11月7日

資本金 123 億 72 百万円

従業員数 当社 431 人 連結 1,047 人

主要営業品目 クロックの製造・販売

> 電子部品、電子機器の製造販売 宝飾品・ウオッチの販売

社 ₹ 330-9551

埼玉県さいたま市大宮区北袋町一丁目 299 番地 12 TEL:048-643-7211(代) FAX:048-643-8490(代)

益子工場 〒 321-4296

栃木県芳賀郡益子町塙 2412

TEL:0285-72-1211(代) FAX:0285-70-8000(代)

北海道地区 $\pm 003-0803$

北海道札幌市白石区菊水三条二丁目4番1号 ニューギンビル3F 札幌営業所

TEL:011-831-3311

東北地区 $\mp 983-0852$

仙台営業所 宮城県仙台市宮城野区榴岡二丁目2番11号 パスコ仙台ビル

TEL:022-291-3235

関東地区 $\pm 110-0005$

東京都台東区上野六丁目 16番 22号 上野 TG ビル 5F 東京支店

TEL:03-5807-7814

東海地区 $\pm 460-0008$

名古屋支店 愛知県名古屋市中区栄五丁目 19番 31号

TEL:052-264-4581

関西地区 $\pm 542-0081$

大阪支店 大阪府大阪市中央区南船場二丁目8番5号リズム大阪ビル

TEL:06-6264-2388

中国地区 ₹ 734-0015

広島営業所 広島県広島市南区宇品御幸二丁目 11番1号 日浅ビル

TEL:082-250-1596

四国地区 $\mp 792-0025$

四国営業所 愛媛県新居浜市一宮町一丁目 12 番 47 号

TEL:0897-33-2707

九州地区 ₹ 812-0042

福岡支店 福岡県福岡市博多区豊二丁目2番33号 T・Yビル1

TEL:092-471-5585



リズム時計工業株式会社 本社

Board of Directors/Auditors

President and Representative Director Yasuhiro Okawa Executive Managing Director Katsushi Nagata Hideya Shinohara Corporate Auditor Managing Director Managing Director Tatsuo Kasama

Standing Corporate Auditor Susumu Tamura Standing Corporate Auditor Yasuaki Kanari Tadaaki Koami Yasuhiro Nakayama Corporate Auditor

Director Koji Higuchi Tetsushi Ueda Director Toshio Koga

Major Shareholders

As of March 31, 2010

Citizen Holdings Co., Ltd.

Nippon Life Insurance Company Saitama Resona Bank, Limited

Kyoei Fire & Marine Insurance Co., Ltd.

The Sumitomo Trust and Banking Co., Ltd.

Japan Trustee Services Bank, Ltd. (Trust Agency)

Sumitomo Mitsui Banking Corporation

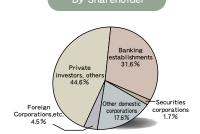
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO

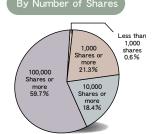
The Musashino Bank, Ltd.

The Master Trust Bank of Japan, Ltd. (Trust Agency)

Shreholder Status

As of March 31, 2010





Kvushu Area

Fukuoka Office

Corporate History

Noson Tokei Seisakujo, the forerunner of RHYTHM WATCH CO., LTD. established. 1946 1950 RHYTHM WATCH CO., LTD. established. Head Office: Minato-ku, Tokyo

-actory: Showa-machi, Kitakatsushika-gun, Saitama Releases Japan's first domestically-produced plastic-frame clock.

1953 RHYTHM WATCH CO., LTD. concluded technical, sales, and capital tie-ups with Citizen Watch Co., Ltd. and Citizen Trading Co., Ltd.

1963 RHYTHM WATCH CO., LTD. listed in the Second Section of the Tokyo Stock Exchange

Mashiko Factory built

RHYTHM WATCH CO., LTD. entered into an agreement with Citizen Watch Co. Ltd. for the mutual use of brand names

Aizu Factory (currently TOHOKU RHYTHM CO., LTD.,) built

1972 RHYTHM WATCH CO., LTD. transferred to the First Section of the Tokyo Stock Exchange

Becomes world's number-one producer of clocks in terms of output. Releases quartz clock

1973 RHYTHM WATCH CO., LTD. developed the world's first 4-MHz class crystal clock movement

RHYTHM KOKI CO., LTD. (currently TOHOKU RHYTHM CO., LTD.) established 1977

1978

RHYTHM SERVICE CO., LTD. established RHYTHM U. S. A., INC. established in the U.S 1989

RHYWACO (H. K.) CO., LTD. established in Hong Kong 1990

RHYTHM INDUSTRIAL (H. K.) LTD. established in Hong Kong

China factory goes online. 1992

1994 RHYTHM PRECISION (H. K.) LTD. established in Hong Kong

1997 Relocates head office to Tokyo's Sumida Ward.

Donates clocks to children's facility in Saitama Prefecture in commemoration of 2000 the 50th anniversary of RHYTHM WATCH's founding (similar activities conducted annually since then under the name "Time Commemoration Day")

2003 Relocates head office to Omiya Ward in Saitama City.

2005 Integrated factories in China and established a new subsidiary. Operations have commenced.

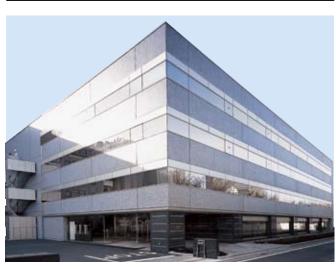
RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD. (currently a consolidated subsidiary) established in Vietnam

Releases first clock ever to bear the "Eco Mark."

Receives first-ever green procurement compliance certification for a clock product.

Company Profile

Date of establishment	November 7, 1950
Capital	12,372 million yen
Number of employees	431 employees (1,047 employees on a consolidated basis)
Principle Business Line	Manufacturing and sales of clocks Manufacturing and sales of electronics parts and equipment Sales of jewelry and watches
Head Office	299-12, Kitabukurocho 1-chome, Omiya-ku, Saitama-shi, Saitama 330-9551 Japan TEL: 048-643-7211 Fax: 048-643-8490
Mashiko Factory	2412, Mashiko-machi, Haga-gun, Tochigi 321-4296 Japan TEL:0285-72-1211 Fax: 0285-70-8000
Hokkaido Area Sapporo Sales Office	3F,new Gin Bldg., 4-1, Kikusui 3-jo 2-chome, Shiroishi-ku, Sapporo, Hokkaido 003-0803 Japan TEL: 011-831-3311
Tohoku Area Sendai Sales Office	Pasco Sendai Bldg., 2-11, Tsutsujigaoka 2-chome, Miyagino-ku, Sendai-shi, Miyagi 983-0852 Japan TEL:022-291-3235
Kanto Area Tokyo Office	5F, Ueno TG Bldg., 16-22, Ueno 6-chome, Taito-ku, Tokyo 110-0005 Japan TEL:03-5807-7814
Tokai Area Nagoya Office	19-31, Sakae 5-chome, Naka-ku, Nagoya-shi, Aichi 460-0008 Japan TEL:052-264-4581
Kansai Area Osaka Office	Rhythm Osaka Bldg., 8-5 Minami-senba 2-chome, Chuo-ku, Osaka-shi, Osaka 542-0081 Japan TEL:06-6264-2388
Chugoku Area Hiroshima Sales Office	11-1, Ujinamiyuki 2-chome, Minami-ku, Hiroshima-shi, Hiroshima 734-0015 Japan TEL:082-250-1596
Shikoku Area Shikoku Sales Office	12-47, lkkucho 1-chome, Niihama-shi, Ehime 792-0025 Japan TEL:0897-33-2707



TEL:092-471-5585

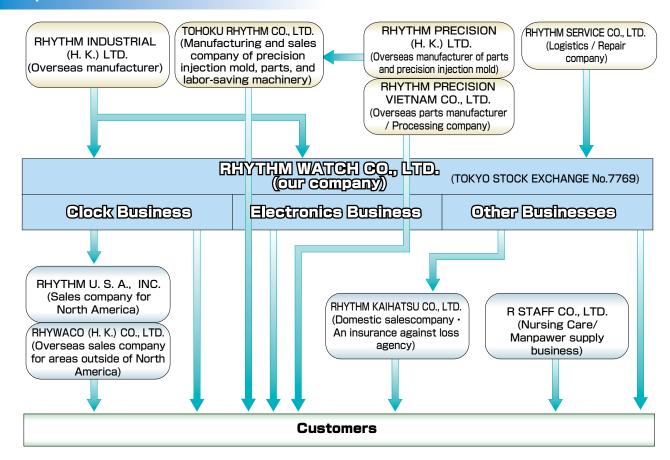
T/Y Bldg. 1, 2-33, Yutaka 2-chome, Hakata-ku,

Fukuoka-shi, Fukuoka 812-0042 Japan

RHYTHM WATCH CO., LTD. Head Office

CORPORATE PROFI

Corporate Structure



Affiliated companies

Domestic

TOHOKU RHYTHM CO., LTD.

(Manufacturing and sales of a variety of injection molds, precision parts, laborsaving machines)

168, Aza Dotesoto, Ooaza Ichinoseki, Mondenmachi, Aizu Wakamatsu-shi, Fukushima 965-0844 Japan

TEL. 0242-28-8074 Fax. 0242-28-2375

URL=http://www.trmk.co.jp/email.somu@trmk.co.jp

RHYTHM SERVICE CO., LTD.

(Clock repairs / General delivery service) 1500, Fujigaya, Chikusei-shi, Ibaraki 308-0112 Japan TEL. 0296-37-8381 Fax. 0296-37-8388 URL=http://www.rhythm-service.co.jp/

RHYTHM KAIHATSU CO., LTD.

(Sales of clock, gift, general merchandise, etc. / Non-life insurance agent) 299-12, Kitabukurocho 1-chome, Omiya-ku, Saitama-shi 330-9551 Japan TEL. 048-643-7781 Fax. 048-643-8281 URL=http://www.rhythm.co.jp/rmk/index.htm

R STAFF CO., LTD.

(Nursing care / Manpower supply business) . 10-34, Kashiwaza 1-chome, Agéo-shi, Saitama 362-0075 Japan TEL. 048-771-6611 Fax. 048-771-6613 URL=http://www.r-staff.jp/ e-mail. info@rstaff.jp

Overseas

RHYTHM U. S. A., INC.

(Selling Clocks) 8601 Dunwoody Place, Suite 150, Atlanta, GA 30350 U.S.A. TEL. +1-770-640-6311 URL=http://www.rhythm.us.com/

RHYWACO (H. K.) CO., LTD.

(Selling Clocks and Clock Movements) 12/F., Remington Centre, 23Hung To Road, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. +852-852-2790-3882 URL=http://www.rhythm.com.hk

RHYTHM INDUSTRIAL (H. K.) LTD.

(Manufacturing Clocks and Clock Movements)

Head Office

Unit 301, Yen Sheng Centre, 64 Hoi Yuen Rd, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. +852-2950-0995

China Factory

Dabandi Industrial Zone Daning District, Humen Town, Dongguan, Guangdong, China. TEL. +86-769-8623-2302

RHYTHM PRECISION (H. K.) LTD.

(Manufacturing of Injection Mould and Injection Precision Parts)

· Head Office

Unit 301, Yen Sheng Centre, 64 Hoi Yuen Rd, Kwun Tong, Kowloon, Hong Kong TEL. +852-2950-0995

China Factory

Dabandi Industrial Zone Daning District, Humen Town, Dongguan, Guangdonge, China. TEL. +86-769-8623-2321

RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD.

(Manufacturing of Injection Precision Parts) Lot No. 42, Noi Bai Industrial Zone, Quang Tien, Soc Son District, Hanoi, TEL. +84-4-582-1661

KOREA RHYTHM CO., LTD.

(Selling Clocks) 329-7, Banghwa-3-Dong, Kangseo-Gu, Seoul, Korea, 157-848 TFL +82-2-2661-4292

ENVIRONMENT

Our Corporate Governance Position

Overview of Corporate Governance Framework

Our organization, which employs an auditor system, has seven directors (out of which one is an outside director) and four corporate auditors (out of which three are independent auditors). Maintaining a board of directors whose members are fully versed in our business enables us to work towards achieving managerial efficiency and enhance corporate and independent auditing functions. These efforts will continue to be applied to endeavors to reinforce the sound management of the company.

Decision-making with regards to material matters concerning our organization and the RHYTHM WATCH group, which includes matters stipulated by laws and our Articles of Incorporation as well as those set forth in our Board of Directors Provisions, is conducted by the Board of Directors, which convenes at least once a month as a general rule. Operational execution based on decisions handed down by the Board of Directors is then swiftly carried out by the director overseeing operations and each departmental manager, who collectively operate under the guidance of the President and Representative Director of RHYTHM WATCH. Additionally, in order to establish internal control functions, the authority and responsibilities of supervisory personnel are clarified within provisions concerning organization, job competence, and segregation of duties. Simultaneously, proper operational execution procedures are also established.

Furthermore, in order to facilitate the strengthening of Board functions and prompt decision making, a Management Council, which is composed of Members of the Board and a statutory corporate auditor and convenes at least twice a month as a general rule, deliberates and determines material matters pertaining to key policies and operational execution that pertains to running the company, as well as matters stipulated under our Management Council Provisions.

Implementation Status of Internal Control Systems

With action guidelines for compliance in place at both RHYTHM WATCH and our group as a whole, we ensure to respect social imperatives as well as adhere to laws and ordinances, and espouse the conducting of

contentiousness business as our corporate ethic. Additionally, we ensure the presence of widespread awareness of compliance amongst employees through implementing educational efforts.

Should the legality of an action or legal suitability of a matter come into question in the course of executing operations, all departmental managers are required to promptly report to the Compliance Promotion Office. In addition to endeavoring to further edify and improve compliance awareness through related educational efforts, this Compliance Promotion Office incorporates both an internal reporting system and a consultation counter for internal and external use.

Furthermore, in order to ensure compliance with internal control auditing systems under the Financial Instruments and Exchange Act of Japan, RHYTHM WATCH has erected an internal controls secretariat within our accounting department to establish and administer internal controls. The Internal Audit Office at RHYTHM WATCH is then responsible for facilitating the evaluation of the effectiveness of those controls.

Status of Internal and Corporate Audits

Out of the four corporate auditors at RHYTHM WATCH, two are accorded full-time duties as statutory corporate auditors, with the two independent auditors also participating in meetings of the Board of Directors. Such arrangements are indicative of the presence of a system to sufficiently monitor the execution of duties by the directors. Additionally, audits are conducted on a regular basis at each business office as well. Our corporate auditors also work to foster mutual collaboration through efforts that include receiving reports from accounting auditors regarding methods and results of accounting audits.

For internal audits, which include an assessment of the effectiveness of internal controls, a member of the Internal Audit Office conducts an audit for a single business office to confirm that operations are being properly executed. The results are then reported to the Board of Auditors on a regular basis, and efforts are made to establish a link with corporate auditing efforts. Additionally, timely reports are also made to the Board of Directors, and opinions are exchanged with outside directors and independent auditors.

Our Commitment to Quality Control and the Environment

List of certificates representing our commitment to quality control and the environment.

- 1982 RHYTHM WATCH CO., LTD. won the Deming Application Award.
- 1995 Electronics Devices Division obtained ISO 9002 certification.
- 2001 RHYTHM SERVICE CO., LTD obtained ISO 9001 certification.
- 2002 Electronics Division obtained ISO 9001 certification.
- RHYTHM PRECISION (H. K.) LTD. obtained ISO 9001 certification.
- 2003 TOHOKU RHYTHM CO., LTD. obtained ISO 9001 certification. TOHOKU RHYTHM CO., LTD. obtained ISO 14001 certification.
- 2004 RHYTHM INDUSTRIAL (H. K.) LTD. obtained ISO 9001 certification.

 Electronics Division, Mashiko Business Office (Currently Mashiko Factory) obtained ISO 14001 certification.
- Clock Division at headquarters obtained ISO 9001 certification. 2005 Started sales of the first clock to be certified with an Eco Mark.
- 2009 RHYTHM PRECISION VIETNAM CO., LTD. is granted ISO9001 and ISO14001 certification
- 2010 Compliance achieved with Green Purchasing Law.





EcoMark Certificate

29 wall clock models by RHYTHM WATCH certified as products compliant with the Green Purchasing Law

The Green Purchasing Law, otherwise known as the Law Concerning the Promotion of the Procurement of Eco-Friendly Goods and Services by the State and other Entities (2000 Law No. 100; enacted April 2001), stipulates that countries, public entities, autonomous bodies and other organizations must purchase goods that meet specifications and standards set forth by the Japanese government (eco-friendly goods) based on certain conditions. The Japanese government then has a responsibility to annually disclose the amount of goods purchased that are compliant with the Green Purchasing Law, with similar initiatives being requested of regional autonomous bodies.

After the law had been enacted, neither watches nor clocks had been recognized as being compliant products. However, following a revision of designated specifications in 2009, clocks were added as a procurement item under the law for the first time.

As of FY2010, 236 items under 19 categories are recognized as items falling under this law. Furthermore, among the special procurement items under the Green Purchasing Law that were disclosed in April 2010 in a follow-up announcement, 29 clock models were newly recognized as viable clock items. All of the clocks included were by RHYTHM WATCH.





Compliant products under the Green Purchasing Law of Japan

DIVISION

In our Electronics Division, we continue to proactively conduct new product planning proposals towards client companies, and are endeavoring to further our business performance in the process. Amidst these efforts, while revenues in the injection mold and parts field declined given the ongoing sluggishness in demand for precision components used in digital products, the information processing equipment field exhibited an increase in revenues due to aggressive new model proposals yielding actual sales. Consequently, net sales in our Electronics Division as a whole increased over those for the previous fiscal year. On

the profit front, the effects of the revenue increase in the information processing equipment field, ongoing streamlining measures, and other factors vielded an increase in operating income.

As a result of the above, net sales in our Electronics Division during the consolidated fiscal year in question came to 14,547 million yen, representing a year-to-year increase of 2.7% over the figure of 14,158 million yen posted for the previous fiscal year. 1,092 million yen was posted in operating income for this Division, a 144.6%-increase over the amount of 446 million yen posted for the previous fiscal year.



Parts for Precision Machinery



Our Efforts in the Manufacturing of Injection Precision Parts

The RHYTHM WATCH quickly responds to customer needs due to our advanced technology and quality management in a wide variety of fields, from injection-mold design to supply and assembly

of parts and the development of factory automation equipment.

Since its founding as a clock parts manufacturing company in 1977, TOHOKU RHYTHM CO., LTD. has responsibly undertaken not only individual "injection mold," "parts" and "assembly" orders, but also new product development on consignment and total production processes. Our efforts have been continuously reinforced by our wide range of technical prowess and know-how coupled with our superior technology and system of quality control. We have strong conviction on our ability to illustrate the advantages offered by RHYTHM WATCH not only to rapidly-developing emergent nations such as China and Vietnam, in which we have networks in place, but also to other customers outside of Japanese borders who have parts procurement needs.

In 2009, we acquired a medical instrument manufacturing license for general medical equipment, and intend to focus our collective technical prowess towards expanding the scope of our business in the medical field going forward.

Our organization spares no effort in "developing human resources" and "improving technology," and places no limits on our potential as we continue to boldly challenge unfamiliar technological territory for the purpose of enabling all of our clients to prosper.



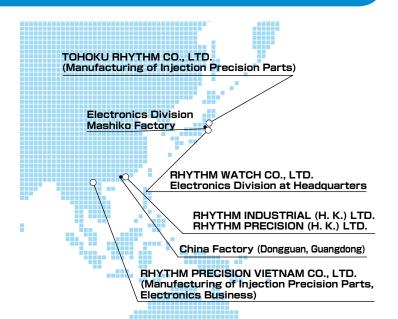
RHYTHM PRECISION (H. K.) LTD.(China Factory)



RHYTHM WATCH CO., LTD. Electronics Division, Mashiko Factory

Electronics Division

Business Offices





Our Efforts in the Electronics Business ...

We will provide high added value services based upon a corporate philosophy that puts our clients' needs first.

By utilizing precision technology amassed in the manufacturing of clocks, our Electronics Division useful products, in order to improve the daily life for our customers.

While looking at electronics devices and systems from a new direction, our company aims to develop a unified system from parts to a system, and will continue to provide the best possible service as a "Development Support Company" by committing ourselves to creating products optimized to customers' demands, regardless of product or category.



in-vehicle camera



AM electric wave timer

Business Offices of the Electronics Business



TOHOKU RHYTHM CO., LTD.



RHYTHM PRECISION VIIETNAM CO., LTD.

Efforts in the Clock Business in Overseas Markets

Agency Network Spread Across the Global (Regions Containing Rhythm Watch Agencies)



Based in Hong Kong, developing sales activities in markets throughout the world except those in North America.



RHYTHM WATCH Thai location



Outdoor advertisement in Russia

RHYTHM U. S. A., INC.

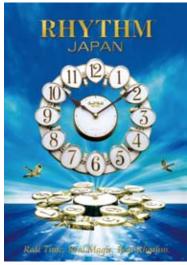
Developing sales activities in North American Markets from its base in Atlanta, Georgia, in the U.S







RHYTHM WATCH has deployed a showroom within the Americans Mart in which the "Atlanta International Gift Show," one of the US' largest-scale international gift trade shows, is held



Spreading the RHYTHM brand around the world

China Factory

Located in Dongguan City, Guangdong-Province, China, operations are conducted under an integrated production system covering everything from the procurement of clock-parts to creating finished products. Most of our clock products are produced in this factory. It is also an important production base for the Electronics Division and the injection molds and parts businesses



Clock Division

Efforts in the Clock Business



Domestic Sales Offices for Clocks



In domestic sales, amidst sluggish personal consumption and a decline in corporate demand, net sales fall under those posted for the previous fiscal year. However, new products progressed at a relatively healthy pace, with this largely fueled by the high marks received from customers. In overseas sales, although severe market conditions persisted, a recovery in sales in the US market coupled with a steady performance in other regions to yield a solid increase in revenues. Sales of automobile clocks exhibited a decrease in revenues under the impact of lower automobile units sold. Simultaneously, on the profit front, our ongoing implementation of earnings improvement measures has lead to an improvement in our cost-of-sales ratio and a decrease in selling expenses. This, coupled with the effects of the appreciated Japanese yen, has yielded a significant rise in operating income despite the sluggish market environment. As a consequence of the above, net sales in our Clock Division during the consolidated fiscal year in question came to 11,233 million yen, representing a year-to-year decrease of 9.5% from 12,418 million yen. However, operating income rose 33.6% over the figure of 839 million yen posted for the last fiscal year to become 1,120 million yen.

GREETING from RHYTHM

Business Philosophy

(Basic Principles)

We shall contribute to the formation of an enriched, enjoyable and safe society through the ongoing pursuit of unrelenting creation and innovation.

- We shall create products and services that please many.
- We shall endeavor to facilitate the prosperity of affiliated parties through business dealings all over the world.
- \cdot We shall establish a corporate culture rich in vitality.

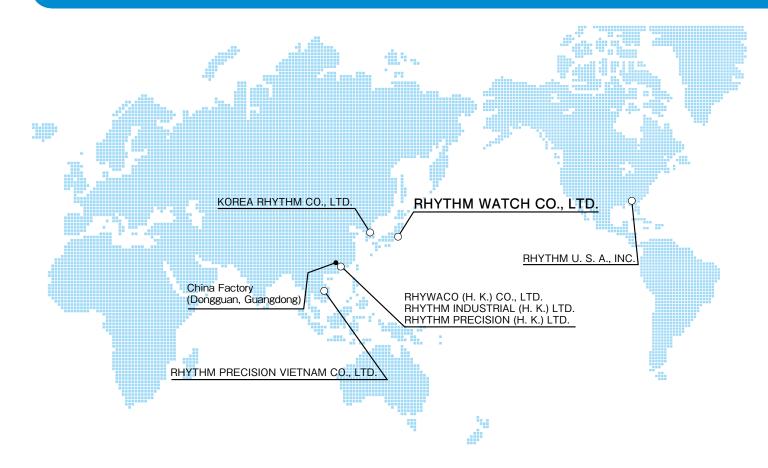
(Guiding Precepts)

- · Maintain a Spartan spirit.
- Maintain an uncompromised scientific (rational) spirit.
- · Maintain a wholesome and cooperative (harmonious) spirit.

The corporate philosophy of the RHYTHM WATCH group represents a guiding light down the path of the "corporate image" that we aspire to.

The "corporate image" that we pursue is embodied by a business that is truly capable of contributing to society. The value of the existence of a business is founded on this "contribution to society," and in order to achieve that, sustainable growth as a business is absolutely necessary. In turn, sustainable growth requires "unrelenting creation and innovation." Applying creative and innovative efforts to bringing forth new products and services enables us to bring joy to all different kinds of people, thus fulfilling our goal of "contributing to the formation of an enriched, enjoyable and safe society." This is the true embodiment of the kind of business that we want to be.

Global Network



GREETINGS

Summary of the fiscal year ending March 2010

President and Representative Director Yasuhiro Okawa



During the consolidated fiscal year in question, the Japanese economy had trended towards a moderate recovery amidst the likes of improvement in the economy overseas and effects stemming from emergency economic measures enacted by the government. At the same time, however, the autonomy of the nation's economy remained weak, with the situation punctuated by an uncertain outlook on the future as precipitated by severe employment conditions, ongoing deflation, and other factors. On the overseas front, Asia continued to demonstrate economic expansion primarily around domestic demand in China. Furthermore, while elements such a peaking of the unemployment rate and variable risk in financial markets are sources of concern in Europe and the US, market conditions in those regions are currently showing a mild turnaround due to effects generated by economic measures and other factors. In the midst of these conditions, we continued to address the

strengthening of our earnings base. In our Clock Business, while a severe consumer climate yielded a decrease in revenue generated from domestic sales, the effects of earnings improvement measures and other factors resulted in an increase in operating income. In overseas sales, although the severe climate continued to pervade overall, both net sales and operating income exhibited year-to-year increases. Additionally, in our Electronics Division, a sales recovery, the promotion of

streamlining measures and other elements in the information processing equipment field resulted in both net sales and operating income to increase over the previous fiscal year.

As a result of the above, net sales for we during the consolidated fiscal year in question came to 28,383 million yen, representing a 3.5%-decrease in sales relative to the figure of 29,409 million yen for the previous fiscal year. Due to operating income in our Clock and Electronics Divisions respectively improving on a year-to-year basis, operating income for the group as a whole came to 1,129 million yen, an 894.7%-increase over the figure of 113 million yen posted for the last fiscal year. Factors such as an ongoing decrease in interest income and dividend income, as well as a decrease in the amount of foreign currency losses posted due to the likes of evaluation losses for foreign currency-denominated receivables, resulted in ordinary income in the amount of 1,333 million yen, representing a year-to-year increase of 306.3% over the 328 million yen in ordinary income posted for the previous fiscal year. Finally, a decrease in the amount of valuation losses on securities posted and other factors yielded net income in the amount of 1,009 million yen (During the previous fiscal year, factors such as the posting of compensation for damages surrounding music copyrights in the amount of 946 million yen resulted in a net loss of 1,903 million for the year.).

INTRODUCTION

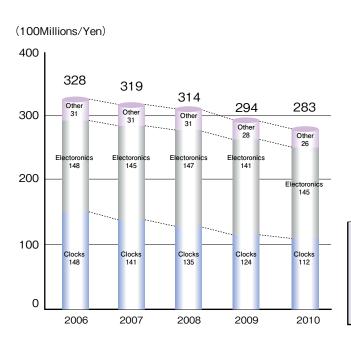
(Amounts displayed have been rounded off.)

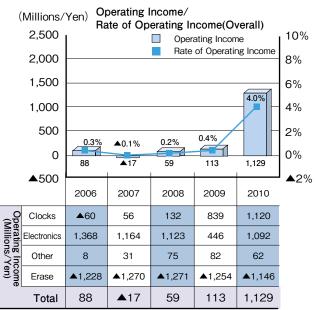
Financial Overview

Summary of Consolidated Results Fisical Year Ended March 2010 / For Fisical Year Ended March 31

	Millions/Yen		
Fisical Year Ended March 2010	Fisical Year Ended March 2009	Comparison	
28,383	29,409	▲ 3.5 %	
1,129	113	+894.7%	
1,333	328	+306.3%	
1,009	▲ 1,903	_	
37,429	35,919	+4.2%	
30,919	30,384	+1.8%	
836	1,098	▲ 23.9 %	
376	755	▲ 50.2%	
	Yen		
244.96	228.29	+7.3%	
7.70	▲ 14.28	_	
2.00	0.00	_	
	Employees		
1,047	974	+7.5	
	28,383 1,129 1,333 1,009 37,429 30,919 836 376 244.96 7.70 2.00	Fisical Year Ended March 2010 Fisical Year Ended March 2009 28,383 29,409 1,129 113 1,333 328 1,009 ▲ 1,903 37,429 35,919 30,919 30,384 836 1,098 376 755 Yen 244.96 228.29 7.70 ▲ 14.28 2.00 0.00 Employees	

Shift in Net Sales (Segment View)













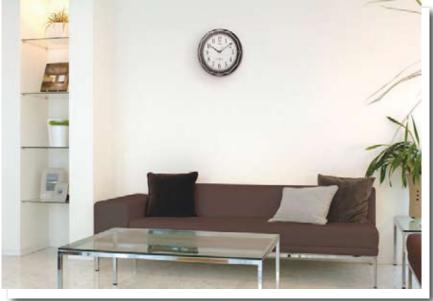


TABLE of CONTENTS

Financial Overview	2
Greeting from RHYTHM	
Business Philosophy/Global Network	_
Clock Division	_
Electronics Division	
Corporate Governance/Quality Control and the Environment	_
Corporate Structure/Affiliated companies	
Corporate Profile	1.1





RHYTHM WATCH CO., LTD.